



第54回糖尿病学の進歩 ランチョンセミナー15

新しいSMBGデータ管理システムによる 治療の『見える化』

2020年3月14日(土)12:00~13:00

第6会場 (ANAクラウンプラザホテル金沢 19F スカイバンケット アストラル)

座長

順天堂大学大学院 医学研究科 代謝内分泌内科学

教 授

綿田 裕孝 先生

演者

永寿総合病院 糖尿病臨床研究センター

センター長補佐

小出 景子 先生

※本セミナーは整理券制です。

事前申し込みをされていない方は、当日「共催セミナー整理券発券所」にてお受け取りください。

セミナー開始と同時に整理券は無効となりますのでご注意ください。

発券場所:石川県立音楽堂 1階 ホワイエ 発券日時:セミナー当日 8:00~11:00

(当日開催されるセミナーの内、発券はお一人様I枚のみ) 1月上旬頃より糖尿病学の進歩HPにて事前登録も受付いたします。 詳しくは学会HPをご参照ください。

https://site.convention.co.jp/54shimpo/

第54回糖尿病学の進歩 ランチョンセミナー15 新しいSMBGデータ管理システムによる治療の『見える化』

永寿総合病院 糖尿病臨床研究センター センター長補佐 小出 景子 先生

本邦における2型糖尿病の患者数は約1,000万人と、増加の一途を辿っている。2型糖尿病は生活習慣と密接に関係しており、生活習慣を治療のために変える難しさが治療に伴う。1型糖尿病では、インスリンポンプ使用者が1万人に達し、ポンプ治療を安全かつ効果的に行う必要性が増している。いずれにせよ、医療スタッフは、患者とともに考え、新しい治療法にも対応して、医師との連携も強化し、患者のアドヒアランスも高めるなど、幅広い療養指導の重要性が高まっている。

糖尿病は自覚症状が乏しく、HbA1cは低血糖や血糖変動を反映しないなど見直され、SMBGなどにより血糖変動パターンを知る意味が、特に、インスリン自己注射をしている患者で大きくなっている。これらにより生活習慣とインスリン注射との関連を知ることができるが、糖尿病患者の中には漫然と測定し、十分活用できていない例も少なくない。医療者も、外来の限られた時間内にデータを把握して、治療に活かすのは容易ではない。

血糖データを治療および療養指導に活かす方法の1つが血糖管理ソフトである。医療者が患者とデータを振り返り、解析し、課題点を明らかにし、治療を改善するさまざまなPCソフトがある。これらのソフトは複数の患者データを管理・解析できると同時に、自己管理用に開発されたスマートフォンアプリなどとの連携も実用化が進んでいる。しかし、それらを使いこなし療養指導に活用できている例は、まだ多くないのが現状である。このようなソフトを活用し、医療者が血糖管理を患者と共に考えていくことで、患者一人一人の生活習慣などに合わせた個別化医療を進めることが可能となると考える。

筆者は、これまで、このデータマネジメントシステムを用いた指導(以下DMS指導™)に積極的に取り組んできた。同指導は、SMBGだけでなくCGMのデータを用いた解析指導にも応用してきた。チーム医療の推進という面では、持続血糖測定器加算の算定要件に薬剤師が入ったことは、DMS指導™展開の一歩と捉えている。さまざまな数値のグラフ化により血糖パターンや血糖変動の要因を探ることで、患者の治療に対する理解や納得度は深くなっていると実感している。今後、指導により活かせるのではないかと考えている。

今回の講演では、良好な血糖コントロールを達成する管理手法の1つとして筆者がアークレイ㈱と共同で開発してきたソフトである、2020年発表予定のMEQNET SMBG ViewerProを活用したDMS指導™を紹介する。ポンプ治療やCGM/FGMの普及による膨大なデータを処理する必要性も増している現状から、他社のデータも表示、解析できるようになっている。DMS指導™のツールが多様化する中で、血糖変動に関わる情報を統合し、一元的に『見える化』するプラットフォームとして活用され、より細やかな生活習慣の改善に繋がるよう整備し展開する予定である。

第54回糖尿病学の進歩 展示発表会 アークレイ株式会社 出展のご案内

日 時:2020年3月13日(金)9:00~18:00 14日(土)9:00~16:00

場 所:石川県立音楽堂・ANAクラウンプラザホテル金沢・ホテル日航金沢 他

展示品: 血糖自己測定器、グリコヘモグロビン分析装置 他

アークレイ展示ブースでは、血糖自己測定器「グルコカード」をはじめとした糖尿病検査に関連する製品や看護ケアとより安全な医療環境づくりに役立つ機器をご紹介いたします。

ぜひ、当社ブースへお越しください。ご来場を心よりお待ち申し上げております。

###